



港工同窓会 ニュース

第23号

令和6年4月20日発行

発行責任者 前田武男

『愛宕山と我が母校』

港工同窓会・副会長

港(全) 8期機械科 海野 鑑一

我等が港工高校生活の三年間に身近な存在であった愛宕山。海拔二十六メートルの山頂に愛宕神社があり、その歴史は、家康が江戸開府の折に寄進され建立。

以来歴代將軍家により庇護を受けながら名山、名所として存在し続けて来ました。江戸百万庶民の信仰と春の桜に秋の月、はるか東京湾の海原をのぞむ行楽の地としても人気を集めて来た。俗謡に「伊勢へ七度、熊野へ三度、芝の愛宕へ月まいり」と歌われてもいました。

又、折々の舞台としても登場し、間垣平九郎が馬で男坂を上下して山頂の梅花を三代將軍家光公に献じたエピソードは、講釈師の演目としても長く語り継がれています。又、「桜田門外の変」では狙撃浪士達の集合場所として使われ祈願の後に目的を遂げている。更に江戸末期には、勝海舟が西郷隆盛をこの山で説得。江戸城の無血開城を条件に江戸百万庶民と街を守り抜いています。

一方、私達の港高生には、至近な存在として愛宕山を利用して来ま

した。

卒業アルバム集合写真撮影やクラブ活動スポーツ部門では、勾配40度、86段の男坂は普通の階段の約五割増高と幅広で登りにくい石段で、下りはテコボコ不規則石段の女坂へと周回するコースで大腿三〜四頭筋に焼き入れされる感覚でした。

通常3周ですが、ガラガラしうものなら更にペナルティーが加わります。また、スポーツ大会などで神社から和太鼓を借用したりなどお世話にもなっています。

さて、戦後の復興は急ピッチで進み近代都市へと変貌して行き、昭和33年には東京タワーも完成して大東京の景観は、愛宕山から東京タワーへと眺望の名所をバトンタッチしてます。

愛宕山をもう少し紹介しますと初夏の朝顔市や師走の羽子板市がある浅草の浅草寺が有名ですが、そのルーツは愛宕神社であったそうです。

又、山頂に隣接する元NHK放送局は、大正14年にラジオ放送を全国に向けて初放送を開始し、昭和元年にはテレビ伝送実験にも成功。我が国の放送メディアのルーツとして存在し、現在は博物館としてマスメディアの歴史を多彩な

展示にて来訪者を楽しませてくれます。

愛宕神社は火災の守護神でもあり、江戸開府以来四百二十余年の歴史の証人でもあります。

今、港工高の跡地は、慈恵医大附属病院となり、そこには母校の縁(よすが)となるものは皆無である。

跡形なき母校の寄る辺は校歌に僅(わず)かに写し採られた愛宕山のみではないでしょうか。

今、愛宕山トンネル東側入口左側に専用エレベーターもあり、山頂に登りやすくなっています。

愛宕山探望に母校を忍ぶ寸暇を都合してみたいかがでしょう。

くかた原に 秋くさの花 かたるらく ほろびしものは なつかしきかな
若山牧水

後記

昨年末に久しぶりに外出し母校の跡地を訪ねた。

愛宕山にも足をのばし神社司、NHK博物館、港区本庁舎資料部にも立寄り、其々の皆様より親切な対応と説明を戴きました。本紙を借りて厚く御礼申し上げます。

お知らせ

令和6年度定期総会のご案内は7ページを参照下さい。

【挨拶】
都立六郷工科高等学校
前統括校長 福田 健昌



港工業高校同窓会の皆様、東京都立六郷工科高等学校の福田健昌です。

毎月、同窓会の理事の皆様は本校で会議をされておりその元氣なお姿から、私も本校の職員も元氣をいただいています。

さて、私事ですが六郷工科高校ではプロダクト工学科(機械系)の教員を5年間、その後、荒川工業高校(副校長)・葛西工業高校(副校長・校長)を経て、校長として10年振りに戻ってきました。六郷工科高校で過ごした時間は合計8年間になりました。教員として校長としての視点で学校を見ることのできたのは幸せでした。

本校の工場や実習室には、港工業高校から引き継いだ施設や設備、工具や計測機器などが残っています。古き良き時代に大切に使用されていたものを現在の生徒も使っていることに歴史の重みを感じます。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止期間を経て、徐々にフルサイスでの教育課程が戻ってきました。一方、世の中は加速度的にDX化、インバーションが進んでいます。皆様より受け継いできた匠の技、六郷工科高校の新しい施設設備で学ぶ先端技術とハイブリッドな学びを続け、若いエンジニアを育ててまいります。

結びに、自分の話しを少し、私は世田谷工業高校機械科を卒業しています。還暦を迎えたクラス会が3月末に担任の先生を招待し集まりました。懐かしい顔を見ながら昔話をしていると不思議なくらい思い出がでてきます。そして、時間があつと言つ間に過ぎます。

慌ただしい世の中で、AIをはじめとしたDXが進み情報がたくさん自分の周りにあり、心を温める時間が少ないように感じます。そんな中、味わったクラス会でのリラックスした時間を大切にしたいと思います。どうぞ港工同窓会の皆様、これからも元氣な声を聞かせください。



機械加工実習室 (フライス盤)



ビジュアルデザイン実習室



LL教室



玄関ホール



機械加工実習室 (旋盤)



視聴覚室



主要車体実習室



溶接実習室



電気機器実習室

『辰年(ちなみ)』

港工同窓会会長
港(全)3期電力科 前田 武男



「無沙汰いたしておりますが、皆さんお元気ですか!!」

さて今年辰年、十一支の五番目の干支である辰は、一般に龍と書き「タツ」または「リュウ」と呼ばれています。辰は生命力と運氣をアップさせる龍神(水や海の神として祀られています)です。また、今年(甲辰)のえたつ(陰陽五行説によると)「甲」は草木の成長を表す意味があり、植物が成長するよう(とんこん)勢いを増して増えていく(とん)意味があります。

そのため2024年辰年は昨年まで努力してきたことが実を結び成就する年、また辰年にさらなる努力をすることで、成功にスピード感を持って近づける年となります。

2023年卯年は準備の年でし

たが、本年はその準備した結果が実を結び年になるそうです。

私は京都が好きで「コロナ」前でしたが毎年訪れていました。多い年には3回ほど。ちなみに正月は伏見稲荷大社に初詣で、あっそうそう伏見稲荷境内には「狐」(こま)犬ならぬ「狐」でもない「狐」がいる「神宝」かんだから、地元では「んぼ(さん)」神社があり有名でわざわざかな朱色の千本鳥居(実際は総一萬基以上)のトンネルをくぐり、その途中を抜けたところにあります。春には梅や桜、特に桜は南禅寺・平安神宮・祇園田川・哲学の道・清水寺などいたるところに有り、どこに行っても楽しむことができます。

秋には嵐山、嵯峨野(さかの、トロッコ列車で亀岡から嵐山まで16キロの保津狭(桂川)の急流を約2時間かけて舟下り(歴史は40年以上)続き日本最古の川下りです)などの紅葉。だけと豪快な激流、また屈強な船頭さんがみせる禰(お)お(お)見(見)れ(れ)紅葉(紅葉)を(を)愛(愛)め(め)る(る)暇(暇)ひ(ひ)ま(ま)は(は)な(な)か(か)つ(つ)た(た)よ(よ)う(う)な(な)気(気)が(が)し(し)ま(ま)す(す)。

話はちよっと横道にそれますが、渡月橋を渡り南側の川沿いを上流に進むと櫛谷宗像(いちいたにむな)かた(かた)神社があります。神社には櫛

谷社と宗像社の2社(いずれも女の神様)が(殿)に(祀)ま(ま)つ(つ)ら(ら)れ(れ)、地元では嵐山弁天社(嵐山の弁天さん)とも呼ばれ信仰を集めています。その境内を通り抜けて山を登っていくとやがて頂上、そこは嵐山の先峰岩田山で自然公園となっており、休憩所は展望台になっていて比叡山(ひえいざん)をはじめ京都市内を一望できます。

また、「モンキーパーク」があり、そこには、子ざるを含め約200頭のニホンザルが野生の状態で見られています。野生のサルが走り回ったり、毛づくろいしたりとありのままの様子を見ることが出来ます。サルと人間がお互いに安全な信頼関係を保てるよう「人間がサルに危害を加えない」などのルールが徹底された結果、サル達(サル)が人間を怖がることも攻撃することもなくなりまし。休憩所の窓には金網が張られておりサルが入らないよう工夫(くふう)されてお、あなたも我々が檻(おり)の中(なか)に(に)入(入)る(る)よ(よ)う(う)。

そのかわりおサルさんに身近(みじか)で餌やりをすることが出来ます。餌は休憩所で1袋(リンゴ、落花生、バナナなど)100円で購入、窓は大きく数箇所あり、おサルさん達が金網にしがみついています。餌を見せると金網の小さ

な穴から必死に手を伸ばしておねだりします。掌(てのひら)に(の)せ(せ)て(て)差(さ)し(し)出(出)す(す)と(と)や(や)さ(さ)しく(く)取(取)っ(っ)て(て)い(い)き(き)ま(ま)す(す)。おサルさんの掌(てのひら)が(が)でき(でき)立(立)て(て)の(の)食(食)パ(パ)ン(ン)の(の)よ(よ)う(う)に(に)や(や)わ(わ)ら(ら)か(か)い(い)は(は)!

また、子ザルは目がクリクリしていても可愛いく、そんな目で見詰められると、ついつい新しい餌を買って別の箇所へ。すると見たことがあるような子ザルが、「なんだまたおまえちゃんか」という「キヤーキヤー」と返事をします。楽しくって・面白(おもしろ)く(く)って(って)1000円(も)使(つか)っ(っ)て(て)し(し)ま(ま)い(い)ま(ま)した(た)。」開園は9時から16時までですが、雨などでおサルさんが早く山に帰った場合は時間に関係なく閉園となります。』

京都とおサルさん「変わった取り合せなので一言。」

さて、京都には龍の付く神社(神様を祀(まつ)る)やお寺(仏様を祀(まつ)る)が多くあります。例えば天龍寺・龍安寺・龍泉寺・龍陰寺・龍穴神社・龍神社など!

睨み」とは描かれた龍はどの角度から見ても目が合い、睨まれているように見えることから「八方睨み」と名づけられた不思議な壁画です。

一方、エリザベス2世が公式訪問され絶賛した石庭ごと「放丈庭園」の龍安寺では「雲龍図」の襖(ふすま)絵などが有ります。なんと、この襖絵は元総理大臣(第79代・平成5年8月当時55才)細川護熙(もりひろ)氏が約3年の歳月をかけ描いた「雲龍図」の襖(ふすま)絵40面が完成し、令和5(2023)年春、龍安寺に奉納されたものです。

誕生したばかりの幼い龍が龍門の深谷から出現するところから、雲中を上昇する若龍・知恵の真珠を掴(つか)む天龍・瘦(や)せて白い髭(ひげ)を持つ老龍など、幼い龍が老龍になるまでの生涯(しよつがい)をたどるストーリー性のある大作、画面のなかで、うねる九つの龍の様子は圧巻、その中心点かは国の重要文化財指定となっています(奉納記念お披露目会に招待され観賞)。

細川氏は政界引退後、陶芸だけでなく絵画・書・茶道(ちやうど)・茶杓(ちやく)・茶室(ちやうど)など多彩な作品を世に送り出す稀代のア

ーティストだといわれています。ある日、突然電話が「細川ですけど、知洋君居ますか?」。寝ていた息子を叩き起し「おい細川さんから電話だよ!」ええ!!総理・総理大臣だよ!「思わず私も」おお!!「あとで話を聞くと政務が暇(ひま)なときに首相官邸まで出向き「マジック」の手解(てほどき)をしていたそうです。電話の内容はカード(トランプ)が無くなったので、

次に来るときに1カーテン(12組)持参してほしいとのことでした。お付き合いは以外と永く続き、神奈川県湯河原町にある「不東庵(ふとうあん)自宅」にたびたびお尋ねしたり、時には泊(と)めていただいたりし大層たいそう可愛がっていただいたそうです。

今年の正月久し振り(コロナ以来)家族だけの新年会を知洋宅にて開催、その折玄関を入ると、下駄箱の上に水盤(みづい)花器に若松に真赤な南天(なげん)をあしらった生け花が置いてありました。花器は個性豊かな形をしており染付は青と白とが半分づつ、存在感があるものの決して生(い)け花を邪魔(じゃま)しない、逆に引き立てています。「この花器いいね!」とっすしたの?「ああ、これ、細川さんに買(か)ったの!」その経緯

(いきさつ)を聞いたところなせ20数年前のことなので確(たし)かなことはわかりませんが陶芸に以前から興味(きょうみ)があり土こねなどお手伝いをしていたとき「ここにある器で気に入ったのがあったら持(も)っていいよ!、近くの棚に1ヶ月ほど前に窯(かま)出した花器・湯(ゆ)茶碗・お皿などの陶器が拾(ひろ)い点数並んでいました。その中に心引かれる、「私を持ちかえて!」といわれている様な気がしていた花器がありました。「これいでもいいも!」さすがだね!!「この花器は私も気に入っている自信作」あわてて「遠慮(えんりょ)・・・受けてよいものを辞退(ていせん)しようと思(おも)っている」とこの(器)になにかいわれたかい。私と君は同じ感性(かんせい)・・・印象を受け入れる能力(能力)、感受性(かんじうせい)あるようですね。この花器を選(えら)ぶと思(おも)っていたよ。そもそも器はそれぞれの使い道(みち)があり、その目的(めい)によって使うのが一番生きるもの、こんな(器)に飾(かざ)るものではない。愛(め)で(愛)して、大切にす(め)下さいね!!」とっすって贈(たま)されたとか!この花器(器)のような花などを生(か)けても様(さま)になる優(やさ)しくれもの。細川さんとは奇異(きい)きい(なる縁(えん)を感じます。

あつたまたまた脱線してしまいましたが、脱線(だつせん)ついでに龍(りゅう)について一言(ひとこと)。
龍(りゅう)は十二支(じふにし)で唯一の想像上の動物です。十二支(じふにし)に龍(りゅう)が含まれている理由は中国(ちゅうごく)古代(こくど)の文化(ぶんか)と神話(しんわ)に根(ね)ざっています。中国(ちゅうごく)の伝統(でんとう)的な文化(ぶんか)では、龍(りゅう)は強力(きょうりき)な象徴(しょうてい)であり、古代(こくど)の神話(しんわ)や伝説(でんせつ)において重要な役割(やくわく)を果た(果た)してきました。龍(りゅう)はしばしば力(ちから)・威厳(いげん)・繁栄(はんえい)を象徴(しょうてい)するとされ、古代(こくど)の皇帝(ていおう)の権力(けんりき)や威光(いこう)を表(あらわ)すシンボルとして用(もち)いられていました。

十二支(じふにし)は、もともと中国(ちゅうごく)の曆(れき)や占星術(せんせいじゆつ)における時間(じかん)の計算(けいさん)方法(はうほう)の一部(いちぶ)として発展(はつぜん)し、このシステム(システム)は12(じふに)の動物(どうぶつ)が特定(ていてい)の年(ねん)・月(げつ)・日(にち)・時(じ)を現(あらわ)すために使(つか)われています。龍(りゅう)がこのシステム(システム)の一部(いちぶ)として取り入れられたのは、その神秘的(めいじつてき)で強力(きょうりき)な特性(ていしつ)が高く評価(ひやうか)されていたためと考(かんが)えられています。
「辰(たつ)は「子(こ)」から始(はじ)まる十二支(じふにし)の5番目(ごばんめ)辰(たつ)の刻(とき)は午前(ごぜん)8時(じ)を中心(ちゆうしん)とする前後(ぜんご)2時間(じかん)で、現代(げんたい)では丁度(ていど)ラッシュアワー(ラッシュアワー)の時間帯(じかん)帯(たい)辰(たつ)の角(かく)は東南(とうなん)東(とう)・江戸(えど)時代(じだい)・深川(ふかがわ)あたりの芸者(げいしや)衆(しゆ)が「辰巳(たつね)芸者(げいしや)」と呼ば(よ)ばれたのは、江戸(えど)城(じやう)からみて深川(ふかがわ)辰巳(たつね)角(かく)の方(かた)角(かく)にあつたからです。

また、龍を表す言葉として「三停九似(さたていきむうじ)説」というのがあります。「三停」とは頭頂から脇、脇から股、股から尾先までを等しい長さとし、また、これは天上・海中・海底の三界に通じるとされ、「九似」とは龍の各部位を現生する九種の動物から採って描くものです。

龍の角は、山野を走る鹿の角をそして軟を帯びる頭部は駱駝(らくだ)・項(うなじ)は蛇・目は眼光鋭い鬼の目(うみやぎ)という説もある(・腹は蟹(しん)・衝天しないうちの龍・鱗(うろこ)は鯉(こい)・爪は鷹の爪・掌は虎の手のひら・耳は牛・これを龍の九似と呼んでいます。また、龍のかたちには背中に81枚の鱗・口のそばに鬚髭(口ひげ・ほおひげ)・喉(のど)の下に逆鱗(げきりん)・逆に生えた鱗がある・声は銅板(銅製のたらい)を打った時の音に似ている・頸(あご)の下に輝く珠がある・頭の上(山)の形をした博山(はくさん)があります。

古代の中国では爪数について明確数は定まらず唐・宋の時代までは三本数が基本(前足が三本爪、後足が四本爪)でしたが、元代に入ると五本の爪を持ち、二本の角をはやした「五爪・二角」だけが

本当の龍と定義されています。

三停九似説や龍の特徴は、人間の創造力のなせる技ではあるが、龍はあらゆる動物の祖であり、あらゆる動物の頂点に君臨するものとして最高の瑞祥(すいしょう)……めでたいこと(きざし)となる(し)・吉兆(きちょう)とあがめられている(なまじり)です。

今年(辰年)は、お子さんやお孫さんと話題にしてみては如何ですか？

本題に戻ります。あつ、いま一つ忘れてはいけな

い処がありました。それは海の京都といわれ「天に

つながる太古の聖地「天橋立(あまのはしだて)」のついでです。京都府北部、日本海の宮津湾にある「天橋立」は陸奥の「松島」安芸の「宮島」とともに日本三景の一つです。有名なのは「股のそぎ」です。股のそぎをしてみよう。天橋立(神話)天の浮橋(神話)……神代の時代、天にいた「イザナギ」が地上の籠神社(奥宮(真名井神社))にいた「イザナミ」のもとに通うため使っていた梯子が天橋立であったといつ(に登場する)「天上世界」などだといわれ、昔人はそれを見ることで神気に触れ、運氣(うんき)が上がる(感じ)たのではないのでしょうか。

「股のそぎ」とは天橋立を背(つ)ろ(に腰を曲げて)股の間から景観を眺めることです。文珠(ぶんしゅ)山(山頂)傘松公園(傘松公園)からの眺望(たっぼう)は一筋(ひとすぢ)の松並木(松並木)が宮津湾(みやつ湾)と阿蘇海(あそうみ)を切り取る(きりとる)かのような景観(けいかん)は天(あま)に架けた橋(はし)のよう(よう)であり、「空(そら)に浮かんだ雲(雲)が海面(うみ)に写(うつ)り、その景観(けいかん)を逆(さか)に見(み)る(こと)により、空(そら)と海(うみ)とが逆転(さか)し、龍(りゅう)が天(あま)に舞(ま)い上(あ)る(よう)にみえます」。

そのことから「飛龍観」と呼ばれています。

また、天橋立は完全な島で天橋立と陸をつなぐ二本の橋(はし)のどちらかを渡(わた)らないかぎりに行(い)けません。

私は船(ふね)が通(と)る(た)びに90度(ど)旋回(せんかい)する珍(めづ)らしい橋(はし)、回転橋(くわんてんはし)を渡(わた)り、天橋立(あまのはしだて)下(した)のお(お)り立ち(たち)ました。全長(ぜんちやう)3.0km、幅(ひろ)20m、170mの白砂(しろすな)、砂地(すなぢ)には約(やく)八千本(はちせんぼん)の松(まつ)が生(い)え、茂(さか)り、なお、この松(まつ)の大部分(たいてい)は人(ひと)の手(て)によ(よ)って植(う)えられた(ら)る(た)ものではな(な)く、自然(じぜん)発(はつ)生的(てき)に生(い)えられた(ら)る(た)もの(もの)です。海(うみ)からは小(こ)さな波(なみ)がさ(さ)さ(み)が打ち(うち)よ(よ)せ海水(かいすい)は透(と)明(めい)度(ど)があ(あ)り、白砂(しろすな)のせい(せい)か多(お)くの魚(いし)の泳(およ)ぐ姿(すがた)が見(み)られ、こ(こ)も神(かみ)秘(ひ)的(てき)です。そのほ(ほ)か天橋立(あまのはしだて)内(うち)はも(も)とより、そ(そ)の周(しゅう)辺(べん)には龍(りゅう)にまつ(まつ)わる神(かみ)社(しゃ)、仏(ぶつ)閣(かく)が数(かず)多(た)く見(み)かけられ(ら)れます。前(まへ)に天龍寺(てんりゅうじ)の「鳴(な)き龍(りゅう)」についてふ(ふ)れま(ま)した(た)が、日(ひ)光(こう)の東照宮(とうしやうみやう)・薬師(やくし)寺(じ)の天井(てんけい)にも同(どう)じよ(よ)うな「鳴(な)き龍(りゅう)」が(が)い(い)ま(ま)す。

また唐門(たうもん)には昇(のぼ)り龍(りゅう)(向(む)か)って右側(みぎがは)の柱(はしら)、降(くだ)り龍(りゅう)(向(む)か)って左側(ひだりがは)の柱(はしら)の彫刻(ていこく)が(が)あ(あ)り(ま)す。

これと同じよ(よ)うな龍(りゅう)の彫刻(ていこく)が東(とう)京(きやう)・上野(うの)東照宮(とうしやうみやう)にもあ(あ)り、左(ひだり)甚(こ)五郎(ごごろう)(江(え)戸(と)時代(じだい)に活(か)躍(やく)した伝(でん)説(せつ)的(てき)な彫(てい)刻(こく)職(しやく)人(にん)・代(だい)表(ひょう)作(さく)は日(ひ)光(こう)東照宮(とうしやうみやう)の眠(ねむ)り猫(ねこ)や見(み)ざる・云(い)わざる・聞(き)かざるの三猿(さんざる)など(など)作(さく)で、毎(まい)夜(や)不(ふ)忍(にん)の池(いけ)(し)のば(ば)すのい(い)け(に)水(みづ)を飲(の)みに行(い)くとい(い)う伝(でん)説(せつ)が(が)あ(あ)り、東照宮(とうしやうみやう)で(で)は「水呑(みづの)み龍(りゅう)だ(だ)と伝(でん)え(え)て(て)い(い)ま(ま)す」。

そのほ(ほ)か東(とう)京(きやう)近(きん)郊(こう)の成(なり)田(た)山(さん)新(しん)勝(しょう)寺(じ)・箱(はこ)根(ね)芦(あし)ノ湖(うみ)の赤(あか)い鳥居(とりい)で有(あ)名(な)な箱(はこ)根(ね)神(かみ)社(しゃ)の隣(りん)には「九(く)頭(とう)龍(りゅう)くすりゆ(ゆ)神(かみ)社(しゃ)の(の)新(しん)宮(みや)が(が)あ(あ)り、龍(りゅう)神(かみ)水(みづ)とい(い)う(う)神(かみ)水(みづ)が湧(わ)き出(で)して(して)い(い)ま(ま)す。さら(さら)に鎌(かま)倉(くら)・江(え)の島(しま)・江(え)島(しま)の(の)し(し)ま) 神(かみ)社(しゃ)に向(む)か(か)う(う)際(ぎは)には必(かな)ず渡(わた)らな(な)ければなら(ら)ない(い)のは本(ほん)土(と)島(しま)をつな(つ)ぐ「江(え)島(しま)弁(べん)天(てん)橋(はし)」(380m)」。弁(べん)天(てん)橋(はし)を渡(わた)り最(さい)初(はつ)に見(み)え(え)る(る)の(の)が「青(あお)銅(どう)の鳥居(とりい)」。江(え)島(しま)弁(べん)財(ざい)天(てん)信(しん)仰(やう)の象(さう)徴(てい)と(と)さ(さ)れ、江(え)島(しま)神(かみ)社(しゃ)の入口(いりぐち)と(と)呼(よ)ば(ば)れ(れ)て(て)い(い)ま(ま)す。(鳥居(とりい)を(を)く(く)ぐ(ぐ)った右(みぎ)手(て)のビ(び)ル(る)3階(かい)に安(やす)くて(て)うまい寿司屋(すしや)が(が)あ(あ)り(ま)す。(鳥居(とりい)を(を)く(く)ぐ(ぐ)る仲見世通(なかつ見せど)りを抜(ぬ)けると「朱(しゆ)色(しき)の鳥居(とりい)」、江(え)島(しま)神(かみ)社(しゃ)内(うち)で色(しき)鮮(あざ)やかな朱(しゆ)色(しき)の鳥居(とりい)が見(み)え(え)ら(ら)れる唯(ただ)一(いち)の場(ば)所(じよ)で美(み)

しい立姿です。

朱色の鳥居を抜け真っ先に見えるのが「瑞心(すいしん)門」龍宮城を模して作られた門で清々とした気持ちで祈ることができるよう、その名が付けられました。

その先、辺津宮(へつのみや)・白龍池(銭洗いで有名、辺津宮社殿の隣には弁財天が祀られている八角のお堂「奉安殿」があり、裸弁財天(妙音弁財天)像が安置されています。この弁天さん、昔、鎌倉には五つの頭を持つ龍がいて悪行を重ねていました。そこに天女(後の弁天)が舞い降り、天女に恋心を抱(いだ)く五頭龍(ごすいりゅう)を諭(さと)し悪行をやめさせました。その後、五頭龍は天女と結ばれ、江島村を災から守ったといわれています。

また、天女が降臨したとともに出現した島が江ノ島だったとか。それから中津宮(なかつのみや)・奥津宮(おくつのみや)と続くのですが、三姉妹の女神様がそれぞれ奉られています。この三女神を江島大神(おおかみ)と称し、江島明神と呼ばれています。

また、一番おくの奥津宮の先には「龍宮(りゅうみや)わたつみのみや)」があります。それは勿論(もちろん)天女と結ばれた龍神様が奉られて

います。社殿の上には大きな龍の銅像が飾られ、ご神体がある社殿内には金の昇り龍の彫刻があります。

古来より江ノ島は龍が棲(す)んでいる場所といわれているため龍神信仰が篤(あつく)く弁財天信仰と合わさった島になったようです。ちなみに日本三大弁天とは江ノ島のほか、広島「安芸の宮島」厳島神社・近江琵琶湖に浮かぶ「竹生島」都久夫須磨神社です。

以上のように江ノ島には龍を描いた絵や銅像だけではなく鳥居や社殿・扁額・階段の手すり・ポール・燈籠など。また「江島縁起(えんぎ)：ものごとの起(こ)り・社寺の由来(ゆき)など」に描かれた五頭龍伝説から始まる信仰の証・弁天橋燈籠・仲見せ通り入口の青銅の鳥居の扁額・瑞心門を抜けた先の階段を上り、辺津宮・奉安殿の弁財天・中津宮の水琴窟・そして奥津宮の龍宮に至るまで探せば探すほど龍に出会える島となっております。今年の辰年にちなみ龍神祭りが開催されるのか！

さて、東京で龍にもっとも縁の深いお寺といえば私は浅草の浅草寺(せそ)です。だと思っ

前に冠する称号のこと)は金龍山です。金龍山浅草寺が正式名称となります。

そもそも、その由来とは？

浅草寺は約1400年の歴史を持つ都内最古の寺院で、その始まりは「浅草寺縁起」によると(飛鳥)推古第33代天皇・593年在位(時代、628年3月18日、江戸浦(隅田川)で投網漁をしていた兄弟が投網の中に一体の像を発見します。仏像のことをよく知らない兄弟はその像を水中に投げすてましたが場所を変えて何度も網を打ちましたが、その度にその像が網にかかればかり、魚は一匹も捕れませんでした。兄弟は、その像を持ち帰り土地の長老に見せたところ、それは「聖観世音菩薩」の尊像とわかり19日朝、里の童子(わらわ)たちがこの観音さまを草で作ったお堂にお祀(まつ)ります。その後、長老は出家し、自宅を寺に改めて供養したのが浅草寺のはじまりと云われています。

また、観音さまが示現(しげん)：神・仏が不思議な靈験をあらわすこと)の日、一夜にしてこの辺(あた)りに約千株ほどの松の木が生じ、3日を過ぎると天から金の鱗を持つ龍が松林の中にくたり、観音さまを守り、この瑞祥(すいし

よつ)めでたいこととなり、なるしるし・吉兆(きちょう)が後に付けられる山号「金龍山」の由来となり、現在も年々回ほど「金龍の舞」が奉納されています。

次に浅草と云えば雷門・雷門と云えば大きな赤い提灯がシンボルとなっています。その雷門は提灯中心に右に風神(高さ約18m)、左に雷神(2.09m)、雷門と書かれた赤い大きな提灯(高さ3.9m・幅3.3m・重さ700kg)の上には「金龍山」の扁額、提灯の底には木彫の龍がいます。すこしかがまないと見えないうもれま

せん。雷門をくぐり、仲見世通りに出て振り返ると(雷門の背面)赤い提灯の文字は風雷神門」と書かれています。そう、雷門は通称で正式名称は「風雷神門」です。文化年間(1804年〜1818年)の川柳に「風の神、雷門に居候」と云う句が見え、この頃には雷門という名称が一般化していたようです。

また、雷神と背中合わせに「金龍像(高さ2.74m・重さ200kg)」「なんともあだっばい」弁天さまを思わせる半裸の女性の姿があり、風神のほうには「天龍像(高さ2.93m・重さ250kg)」頭(かぶ)に一本の角(つの)が生えた男性

の姿が安置されています。そして、朱塗りの店舗が並び仲見世、雷門から宝蔵門まで250mにわたっています。

宝蔵門(仁王門)は初層が五間(一問1.8m)で両端の二間には仁王像が捧安されており、中央の二間が通行のため開口されています。開口された入口には雷門と同じように赤い提灯(高さ3.75m・幅2.75m・重さ450kg)は雷門とくらべ、やや小振りで小舟町の文字が書かれ、その両端には吊灯籠(高さ2.75m・重さ100kg・銅製が吊り下がっています。仁王は右が吽(うん)形像(4.93m)左が阿(あ)形像(4.54m)が睨みを利(き)かせています。

扁額は「浅草寺」となっており、宝蔵門を通り抜けると、本堂前右側にお水舎があり高村光雲作の「龍神、沙鷄羅(さから)龍王像」が立ち、その足もこの九頭龍の口からお清めの水が流れ、天井には「墨絵の龍(東照光(画))」があります。

本堂(観音堂)の堂内は内陣(ないじん)と外陣(げじん)に分けられており、外陣(通常、我々が参りする処)に入る(正面上に雄渾(ゆうこん)…力強くてよびみの

ない)の筆致で「施無畏(せむゐ)の扁額(観音さまは経典において「施無畏者」とも呼ばれ、人々の不安や恐怖を取り除き「畏れ無きを施して」くれた)の施無畏」とは観音さまのおはたらきそのものを意味します)が掛っています。外陣は天井まで10mの大きな空間があり、天井には三面の大きな絵、中央は川端龍子(かわばたりゆうし)画の「龍の図」、左右が堂本印象(どうもといんしょう)画の「天人の図」「三華之図」があります。浅草寺参拜の折はぜひ見上げてみては!!



雷門提灯下の龍



宝蔵門提灯下の龍

私は『た』くやんの笑顔』『つまれた老後にしたいと、一日一日を大切に過ごしたいと努力しているのですが、これが「なかなか」難(むず)かしい。NHKの番組「子」ちゃんに叱(しか)られる「で」ポーと生きてんじやーねーよー」と叱(しか)られてますが「ポーとのんびり」生きてます。本年もこうぞ宜しくお願い申し上げます。

追伸

長らく休止していた総会を学校(六郷工科高校)のご厚意により、開催できることになりました。

懇親会につきましては諸般の事情により本年も休止と致しますが、そのかわり箱根湯本温泉旅行を計画(秋頃)致します。当日、時間とお金に余裕のある方はチケット足を延ばし、強羅公園やロープウェイで地獄谷・芦ノ湖に鳥居が浮かぶ箱根神社そして芦ノ湖の守り神九頭龍神社・芦ノ湖遊覧船など観光されては如何ですか!

出欠については総会出欠の返信はがきに旅行希望の「らん」を設けましたのでご記入下さい。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

尚、学校内は港工と違い、直接関係のない別の学校ですので総会会場以外は許可なく立ち入りすることが出来ません。宜しくご配慮(はいりよ)のほどお願い致します。

令和6年度 定期総会のご案内

4年ぶりに定期総会を開催します。ご参加をお願いします。
日時 令和6年6月8日(土) 13時~15時30分
(受付は12時30分より)
場所 都立六郷工科高校 2階会議室

内容 京浜急行雑色駅 徒歩3分
令和5年度事業・決算報告
令和6年度事業計画・予算案承認、その他

※懇親会は今年も中止ですが、秋の旅行会にご参加願います
※定期総会出欠は同封はがきで、5月20日までに返信をお願いします。

令和6年度旅行会(懇親会)のご案内

皆様のご参加をお願いします。
日時 10月20日(日)~21日(月)
場所 箱根湯本 「伊東園ホテル」
費用 一万円
募集 定期総会案内同封はがきで返信または電話やメールでも申込可能で、8月末日まで受付です。

返信ハガキからの近況・思い出(特別会員令和6年度)

旧(第13代校長) 村上 尚

同窓会ニュースをいつも戴き感謝します。八路半ばになり細々と暮らしています。

皆様のご健勝を祈念いたします。

旧(第15代校長) 小山 実

毎年、港工同窓会からご案内をいただき有りがとございます。

今年、74才になり、足腰が弱っておりませんが、週3回程度テニスを楽しんでおります。ご盛会をお祈り致しております。

旧(教頭)定 市川 勝緒

いつも御案内を頂きありがとうございます。在職中は、皆様には大変お世話になり感謝致しております。会には失礼しておりますが、皆様方のご発展のご健康をお祈り申し上げます。

旧(教頭)全 木村 武敏

3年振りの総会の開催、大変うれしく思います。OB会も高齢化がすすみ、運営もご苦労が多いと思えますが、宜しくお願い致します。私はお陰様で歳相応の生活を営んでおります。

旧(教頭)全 相川 英昭

お世話さまです。軽い狭心症で楽しい旅行会にも参加できず残念です。

旧(教頭)全定 桑原 洋

昨年10月より小学校の英語授業に関するお手伝い(英語の指導ではありません)をしています。子どもたちからエネルギーを買っています。

旧(教頭)定 石井 良治

常々、ご連絡有難うございます。このところ、スイスの友人宅に呼ばれることが多いので、失礼させていただきます。

旧(電気)全 山田 信幸

皆様お元気ですか。会の再開おめでとございます。皆様とお会いし歓談したいのですが脚力に自信がなくなり残念ですが欠席します。近況は「春」がくるたびに年を重ね、信じられない速さで時は過ぎ気が付けば94歳の私がいいます。今年の楽しみは大谷翔平の野球と「こころ旅」のTVを見る事です。「人生百年」を目指し頑張りますよ!!!

旧(数学)定 清水 隆夫

いつもご連絡ありがとうございます。返事が遅れて申し訳ありません。総会・懇親会共、欠席します。

旧(自動車)全 中井 泰也

久しぶりの総会ですが、交通機関を利用するのがちよっと不安があり、箱根湯本にも欠席となります。

旧(自動車)全 豊山 州生

コロナの影響でしょうか、気がついたら車いすの生活になってしまいました。永年のご厚情ありがとうございます。

旧(英語)全 甲斐 徳隆

人生いろいろ...!! 1月にインフルエンザにかかる。2月に腰椎が圧迫骨折する。しかし、ポジティブに考え、一日一日をプラス思考で生活しています。

旧(家庭)全 檜垣 栄恵

お世話になり、ありがとうございます。返信が遅くなり申し訳ございません。時間講師を続けております。4月から新たに「総合工科高校」に週2日、お世話になることになりました。港工業高校時代の先生にもお会いでき、23年ぶりの工業高校にワクワクしております。

旧(機械助)全 鎌田 幸雄

事務局の運営に敬意を表す次第であります。私は要介護の家族を抱えていますので、今後とも総会や懇親会等に出席できませんので、宜しくお願いいたします。

旧(国語)全 川田 裕美子

港工の閉校から早くも21年が経つのです。私は竹早高校非常勤教員5年を終えて、公募試験を受け、4月から竹早6年目を継続することになりました。

旧(英語)定 福井 一祥

新卒6月から突然の4年担任、年の差わずかの若者として、緊張と楽しい日々が懐かしい。その後、18年間、3回の担任、定時制独自の文化祭、体育祭も思い出深い。故郷に帰ってがんばった卒業生の早逝の報は悲しいが、「同時代を生きた」卒業生とのたまの会合は元気をくれます。この5月で82才、どうにかやっています。

旧(国語)定 持田 ひづる

先日、機会がありましたして、港工業のあったあたりを再訪しましたが、まあ一変わったこと変わったこと。栄枯盛衰、有為転変、諸行無常。愛宕山のみ変わらぬように見えますが、さへは遠くへなりました。

旧(数学)全 西角 亮一
 今年の始めに体調を崩し入院、今は体力回復に励んでいます。健康の有難さを楽しみ感じています。

旧(国語)全 吉川 英雄

昨年4月より定年退職した都立竹台高校に非常勤教員として着任し、広報活動や新規採用教員を中心とした若い先生方の支援、教務(総務)部のお手伝い等を楽しんでいます。港工に1980(昭和55)年に新規採用教員として採用されてから、高校現場44年目となります。心身共に元気です。

旧(電子)定 伊藤 雅章

そろそろお迎えの年齢となり、今迄真つ当に生きてきたか振り返ると、それには程遠い人生だった。嘘をつく、約束をすっぽかす、人を小馬鹿にして冷笑するなど、数え上げればきりが無い。特に、港工での生徒への行為は、今なら則懲戒免職。思い出すたび慚愧に堪えない。
 どうすんか……

旧(数学)全 栗原 幸一

同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げます。非常勤教員として8年間続けていますが、来年度は体が持つか?… 高尾の麓から総会の盛会をお祈りしています。

旧(機械)定 福雷 千明
 春は「張り」の響きあり。
 「二月の恒例クラス会26期E・M有志」も、「コナ明」で再開し再会できました。それはそつと工業高校が工科へ名称変更とか、I・TやA+社会を見据えてのイメージチェンジですね! 生徒増への起爆剤に成ることを期待したいものです。いつも同窓会ニュースを頂くと、愛宕界隈を巡りたい心持になります。いつも有難うございます。

“水底の別世界あり蝌蚪の群れ”

旧(数学)全 田中 仁

港工の校舎がなくなつてだいぶ経ちますが、たくさん思い出が詰まっていただけに残念です。今年から全ての都立工業高校が「工科」高校に名称変更されました。しかし、残念ながら入試倍率は低いままで。私立学校への助成金のせいでしょうか。工業高校が統廃合にならないことを願つて毎日です。

旧(国語)全 江川 義人

いつもありがとうございます。お陰様で健康を保っております。キリスト教信者となり、差別、偏見、決めつけの弊害についての研究と大学入試問題(国語)の挑戦に励んでおります。

旧(国語)全 矢部 玲子
 北海道文教大学国際学部国際教養学科の教員を務めています。遠いところですが、ご存知の生徒さん達に進学を勧めてくださいましたら幸いです。

旧(事務) 湯田 省二

先約があり総会に欠席いたします。ご盛会をお祈りいたします。現在、福祉教育関係の出版社に週四日勤務(10時~16時)しております。

旧(事務) 関分 賢司

いつもご連絡をいただき感謝いたします。今回も欠席といたします。港工業を転出してちょうど25年になりました。沖縄という遠方にいるため、皆様にお会いする機会を得ることもむずかしくなりました。ついでには、同窓会の御連絡を以後はご辞退いたしたく、お伝えいたします。在職中の事をなつかしく思い出しますが皆様によろしくお伝えさせていただきます。

※ご挨拶返信はがきをいただき、ありがとうございます。

- 旧(英語)全 馬場 幸雄
- 旧(英語)全 小向 百香子
- 旧(国語)全 花田 恵子
- 旧(電子)全 北島 敏己
- 旧(電子)全 武藤 隆

恩師 訃報 (敬称略)
 本杉 不二夫 (電子)

訃報 (敬称略)

- 高輪一本10期M 野田 直嗣
- 港全2期M 高野 陽之助
- 港全5期C 川原 宏平
- 港全6期P 林 鑽一
- 港全6期C 木村 祐治
- 港全7期A 亀山 勝美
- 港全8期M 細谷 武久
- 港全8期E 中尾 力
- 港全12期M 今井 芳雄
- 港全13期C 増村 興
- 港全17期M 岡田 浩
- 港全17期A 上保 鉦二
- 港全30期M 河崎 勝芳

●「福雷」をお祈り申し上げます。



返信ハガキからの近況・思い出(会員)

港全3期A 波多野 稔

過日、久し振りの旅行で出掛けた帰路、第一国道を通り、JR高輪グレートウエイ駅前を通った。78年前のS20年4月戦中、今は跡形もなくなっている都電高輪北町駅前の都立高輪工業中学校に12才で入学、品川駅から戦闘帽をかぶりゲートルを巻いて歩いて登校したことが思い出された。また、この第一国道を今年入学した孫の母校が(K大)箱根大学駅伝の予選でどうにか通過し、親の出身校W大と走ると思うとなんとなく楽しみが感じられた。今は年賀状などで卒業後も交信し合っている4〜5名のクラスメートは、今年も健康だったか?で想い出す。

港全4期P 山本 武

港工同窓会二ニュースありがとう御座居ます。私は卒業後勤めの関係で長野県松本市に任んで、今は90才になってしまいました。卒業後クラス会が10数年前に熱海であって、その時に15名程度の友人が参加して、それ以来誰とも連絡取れず、お会いできてません。知っている友人は他界してしまい、寂しい限りです。私も今は体調不良で、いつサラバかとゆう現在です。

港全6期P 佐々木 修一

同窓会二ニュース(22号)ありがとうございました。会費は本日振込みます。総会の中止はやむを得ないと思いますが、秋にやっていた有志による泊りがけ旅行は継続してほしいですね。私は、この旅行会が港工同窓会の主流会合だと思っておりますので。

港全10期E2 佐藤 巨亮

此度、前田会長はじめ理事の方々、一部の先生方の大変なご苦労、ご尽力に初めて接し、私には言葉で充分言いますことが出来ませんが、深い感謝の念を抱きました。

港全9期E 小嶋 鶴民

私は9期電気機器科卒の生徒です。想い出を寸時書きます。私は運動が好き、殊にバスケット部で毎日練習し、日が暮れてやっと自宅にたどりの着き、玄関でひっくり返る様な毎日で、クラブとしては良い指導者に恵まれず、対外試合では勝つ事が出来なかった。3年になって主将に選ばれたが相変らず弱いチームでした。でも仲間には良いヤツに恵まれた。Aコースの辻(早世したが)、船橋、C組の村田、相沢、Pの鳥井等と良く練習した。愛宕山の石段は毎度練習場、その激しさからか相沢は若死してしまつた。校内対抗試合では、体操の先生の乱暴で目尻を何針か縫つた事等、昨日の事の様に眼前によみがえります。卒業後四大に進み、最後、卒研で1週間連続徹夜でやつと卒業出来た体力はバスケでできた体力が生きたと思っております。今春には妻に先立たれ元氣も半分になりました。同窓会会長様外皆様お元気で。(付言)小僧 只今、日蓮宗寺院住職を卒業し、院主の生活を送っております。

港全8期E 大江 洋一

おたよりありがとうございました。寄る老令により体力、氣力のおとろえが目に見えてふえてきました。いろいろとお世話になりました。増々の御発展をお祈りします。長い間ありがとうございました。

港全8期E 沢登 広三

現在86才になりました。元氣です。とりあえず目標88才米寿です。

港全10期M 下田 雄三

小生昭和14年5月5日生れ84才。左右とも人工股関節で杖歩行。左は術後感染で再手術となり、2ヶ月の入院生活を強いられ現在〒イサービスに週2回通い、すっかり落ちた筋肉の回復に励んでおります。今年7月に久しぶりのクラス会が新橋の新橋亭で行われ、私は不参加でしたが6名参加。次回は以前にも行った右和温泉という話がまとまったところでした。

港全9期C 上倉 健一

2023年8月14日から北里大 学病院に入院しています。(友人が代筆)

港全10期E 上倉 健一

思えば港工同窓会も同じ。面倒見のよい献心的な会長と理事さんのおかげ感謝感謝です。本当にお疲れ様です・・・でした。ありがとうございます。お身体暮々もお大事になさいます様に!!

港全10期E2 池田 克良

籠球部に入り三年間10人で先輩にしかれ愛宕山の階段を登り横須賀線の電車が見えたのが想い出されます。年々亡くなる者が増え寂しいですが、ボランティア活動（高齢者の府省指導）をしています。

港全13期A 嶋田 雄一

月日の経過は早いもので港工業を卒業して63年になってしまいました。私は在校時3年間卓球部に所属しておりました。練習開始前の準備運動での愛宕山階段上りはきつく苦しく今でも忘れられない思い出です。苦業を共にした同期の仲間は今でも年に1〜2度親交があります。

港全14期A 大岩 巖雄

今日は12月26日、机の中の整理で港工同窓会の通知発見!! 返信が年の瀬になり申し分けありません。賛助金の納入も年内に致します。今年、14期自動車科のクワソウ会を卒業以来の開催で16名が出席し、なつかしくてうれしい一時でした。事務局の松岡様には名簿ご提供のご協力ありがとうございました。今後とも前田先輩始め、事務局のご活躍祈念申し上げます。良い年をお迎えください。

港全13期E2 林 正雄

令和5年の初めに80才になりました。長いような短いような人生の旅でした。今後はどんな様になるか、さて??

港全14期A 鈴木 雅司

令和5年7月2日級会開催において、住所録の御提供をいただきまして心より感謝を致します。おかげ様を持ちまして16名の参加を頂きまして、とても楽しい一日となりました。大坂、名古屋の小田切さん、高橋さんにも参加して頂きました。連絡は取れたものの、ドクターSTOPで参加出来なかった人、不明の人、亡くなられた方と色々です。皆さんと話をしてくれからも元気がいはるぞと言う気持ちかがわいてきました。皆様方には本当にありがとうございました。幹事長・中原、幹事・大岩、鈴木皆様に心よりの感謝を致しております。末筆ではございますが「福島先生ありがとうございます」

港全15期E1 新谷 義男

忙しい日々健康でありたい。10月5日実家田黒区洗定の家土地売却した。父母、妹、弟の思い出のある場所。昭和47年から51年いた事になる。

港全18期A 鶴田 端雄

8月にコロナ感染しました。微熱だった為5日間位にて回復できました。9月末には力せて咳に苦しめられました。この3年位は病氣と縁遠かったので少したえましました。現在も、在職中の為、のんびりは出来ませんが、仕事を楽しんでいる状態です。

港全19期M 岡村 武則

毎度お世話様です。年金生活していますが写真撮影の技術を許していただけます。スタジオを自宅です。皆様のご健康をお祈りしています。遅くなりましたが10/24に会費を振込させて頂きました。

港定8期E 松井 和寛

定時制8期昭和31年3月卒業の名簿を欲しいのです。皆さんと連絡をとりたいので事務局にありましたら郵送下さい。

人生100歳と言われるれています。が、私も86歳となつて友人達も少なくなってきました。同級生との交流が大切だと思います。

港全22期MA 桑原 敏幸

いつもご連絡いただき有り難うございます。一週間を振り返ってみますと、囲碁指導に5回出掛けます。日中は囲碁を打ち頭の体操を、夜間はダンスで体の老化を遅らせているのです。空いた時間は庭木の手入れと囲碁資料作りで、あっという間に一週間が過ぎていきます。コロナが身近に迫ってきてますのでマスクは欠かせません。マスクを付けて出掛けます。皆様お体ご自愛下さいませ。

港全30期M 清野 東彦

2007年11月の六郷祭から16年同窓会にお世話になってます。2013年、担任の植松先生が亡くなり、昨年12月7日に一番元氣だった河崎勝芳が亡くなりました。64才はまだ若いさよならでした。

港全36期A 篠崎 明

杉野先生の訃報に言葉を失いました。私が入学した頃は、まだ自動車科の助手でクラスの副担任の様な存在でした。港工の卒業生の先輩という事も有り、先生と言うよりは杉野さんと親しみを持って呼んでいました。自動車部でも色々お手伝ってもらい思い出が尽きません。謹んでご冥福をお祈します。

港定10期C 三堀 和夫

S33年卒の定時制のグループは少人数になりましたが同窓会を20年以上続けていました。しかし、コロナの関係で3年ほど中止していますが、本年は飲み会にして何とか続けたいと思っています。

港定55期E 名倉 道夫

定時制最後の卒業生の一人ですが、前田会長ががんばってください。応援しています。(84)乱筆にて

港定10期C 海老原 弘宣

私も今年2月で84才になりました。年のせいか最近「めまい」と「息切れ」で悩んでいます。同窓会ニュースの前田会長の記事を見ましたら、何と91才になられたようにびっくりしました。私もまだ年のせい等と言ってる時ではないと思います。これからの残り少ない人生を元気で過ごしたいと考えました。役員の皆様いつもお世話になってありがとうございます。

※賛助金振込ご挨拶返信はがき、

ありがとうございます

港全7期M 湯浅 重幸

港全8期M 村井 正仁

港全14期A 嶋田 昌弘

港全18期M 大塚 隆一

港定19期MA 細山 和夫

【事務局からお知らせ】

◎会則改定による賛助金のお願

令和5年度の総会中止案内及び会報は、恩師及び賛助金納入者の一部(655部)に送付しました。

賛助金は303名の方に送金でき、前年比約11%の減少でした。

本年の会報発送は、恩師及び賛助金納入者の一部に絞られ、財政の効率化を計ります。なお、昨年は会報臨時号を発行しなかったため、運営費残金に余裕があり、本年は臨時号の発行を予定したいと思っております。

同窓会の収入は会員の賛助金・寄付金のみです。会報継続のため皆様のご理解をお願いします。

※郵便局のATM機を使えば、

①土曜・日曜・夜間も振込出来ます。

②同封の振込用紙をそのまま機械に挿入し、金額のみ押せばOKです。

※金額の変更訂正可能です。

◎窓口より待ち時間が早いです。

★銀行口座振込みを受け付けます

銀行 三菱東京UFJ銀行

支店 433 新橋支店 普通預金

口座番号 47534003

口座名義 港工同窓会会長前田武男

※必ず名前の前に会員No.を記入し
ください。
出来れば振込連絡をお願いします。

☆令和5年度の収支状況(案)

前期繰越額		565,305.-
収入の部		698,002.-
臨時会費		0.-
賛助金 303名	606,000.-	
寄付その他	92,002.-	
支出の部		517,742.-
総会費 0名	22,548.-	
通信費	168,922.-	
広報費	226,930.-	
文化祭費	32,010.-	
事務その他	67,332.-	
次期繰越額		745,565.-

＜同窓会の連絡先について＞

住所変更の連絡、名簿内容の質問、同窓会ニュースへの寄稿、クラス会他近況等々は下記事務局又はHPへお願いします。

記

〒278-0051 千葉県野田市七光台158-5
 港工同窓会 松岡 信之(会計理事・港16期A)
 TEL 080-1278-1584 FAX 04-7129-0916
 E-mail: matsuoaka@minatokou.net

・ホームページ : www.minatokou.net

◇ 編集後記 ◇

毎月、港工同窓会・理事会開催でご支援いただいている六郷工科高校の福田建昌前統括校長からの投稿記事を掲載させていただき、感謝申し上げます。

今年は5年ぶりに定時総会を、六郷工科高校で開催しますので、特別会員、会員の皆様にご参加いただき、港工同窓会を維持・継続する活動の盛り上げにご協力をお願い申し上げます。

なお、懇親会は中止しますが、秋に懇親会を兼ねて再開する旅行会を箱根湯元伊東園ホテルで行いますので、皆様のご参加をお待ちしています。

昨年は同窓会ニュースを会員の内、恩師及び賛助金納入者に限定して会報を発送しました。賛助金の減少が続く中、本年は臨時号の発行も検討します。

同窓会ホームページは、閲覧数が220000を超えておりますが、会員の皆様からの投稿が少ないです。つきましては、クラス会の案内・連絡などに活用いただければより早く通知できます。投稿はメールでOKです。又は、原稿を事務局宛に郵送でもかまいません。クラスメイトの動向等問合せにもご活用ください。(加藤誠)